

ない者が2名であり、合計で13名である。

令和8年4月1日付の新規採用職員数は、一般事務職が32名、土木技術職が1名、建築技術職が2名、保育士が7名、保健師が2名、栄養士が1名の合計45名を現在のところ見込んでいる。

**Q** 令和7年度末の保育所の待機児童数と新年度の見込みは。

**A** 本年2月1日時点の待機児童数は56名、新年度となる本年4月の待機児童数の見込みは、入所調整の1次審査を終えた現段階では40名である。

**Q** こども誰でも通園制度の利用定員枠は。

**A** 狭山市こども計画の中で令和8年度の提供体制として1カ月当たり16名分の利用定員枠を確保する計画としており、現在本年4月の事業開始に向けて、公立では狭山台南保育所を受け入れ施設とするための準備を進めているほか、市内の民間保育事業所の認可申請を受け付け、審査を進めているところである。

**Q** 生活保護の世帯数と保護率は。また、近隣市、県における世帯数と保護率、国の保護率は。

**A** 生活保護世帯数は本市が965世帯、飯能市が665世帯、所沢市が4,075世帯、入間市が1,106世帯、日高市が473世帯で、埼玉県においては8万806世帯である。

保護率は、本市が0.77%であり、飯能市が1.04%、所沢市が1.46%、入間市が0.95%、日高市が1.12%、埼玉県は1.34%、国は1.61%となっている。

**Q** 更新される飯能斎場の内容、具体的な稼働スケジュールは。

**A** 火葬炉の数は現在の6基から2基増設し8基となる。また、1炉1炉前ホール方式を採用し、火葬炉ごとに一連の所室を配置し、

利用者の動線に配慮しプライバシーの確保が図られる施設とする。

令和7年度に基本設計、令和8年度に実施設計および造成工事を実施し、令和9年度から本体工事に着手し、令和11年度の供用開始を予定している。

**Q** ハザードマップ作成委託料の内容は。

**A** 令和8年5月から国が運用を開始する新たな防災気象情報に対応するため、現行の防災気象情報を記載した水害ハザードマップを見直し、河川氾濫や大雨、土砂災害などに関し発表される注意報や警報等の情報名称を一部変更や新設するほか、5段階の警戒レベルが付記されるなど、新たな防災気象情報により適切な避難判断ができるよう、ハザードマップを更新する。

**Q** 小学校の実質給食費5,500円を全て補助する検討はしたか。

**A** 国では給食費の抜本的な負担軽減策として学校給食費負担軽減交付金を創設し、公立小学校の給食費に対し月額5,200円を上限として支援することを決定したが、本市の食材費相当額はこの金額では不足することから、検討した結果、不足分の300円については、学校給食法に沿って保護者に負担していただくこととした。

## ◆令和8年度狭山市後期高齢者医療特別会計予算

**Q** 改定後の後期高齢者医療の被保険者1人当たりの平均保険料額は。

**A** 埼玉県後期高齢者医療広域連合の試算では、今回の保険料改定を踏まえた被保険者1人当たりの平均保険料見込額は10万791円となり、改定前と比較すると1万4,903円の増額となる。